

第35回全日教連教育研究全国大会(徳島大会)開催!



香川県教職員連盟機関誌
発行所: 香川県教職員連盟
発行者: 安本 薫

〒760-0004
高松市西宝町2丁目4番60号
香川県教育会館602号

TEL (087) 835-2721
FAX (087) 835-2723

<http://www.kakyoren.com/>
E-mail: info@kakyoren.com
毎月10日発行 定価1部50円
(年間1,000円 送料とも)
会員の購読費は会費の中に含む



香教連は、結成四十四年を迎えた、子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、県内最大の教職員団体です。

新しい時代を創造する力を育む教育実践

高い志をもち、主体的・協働的に学びの意欲を燃やして

八月四日(土)、五日(日)、第三五回全日教連・教育研究全国大会が、徳島県のJ Rホテルクレメント徳島を会場に開催された。

大会初日は、七つの分科会に分かれて、各都道府県提案者の実践発表や各分科会の助言者による助言者ゼミナールが開催された。香教連からは二名の先生方が分科会で実践発表を全国に発信した。

第五分科会 「健康教育」
分科会テーマ 「食育」「保健」「体育」を通じた生活習慣の改善を図る教育

坂出市立川津小学校・谷口翔平教諭

「表現する楽しさを感じ、仲間と関わって喜びを味わえるよう、イメージと動きのつながりに焦点化した授業づくり」というテーマで授業研究を行う中で、イメージしていることをどうやって動いたらいいかわからない、動いていても何を表しているかわからず、動きの質が高まらないといった子どものつまずきが明らかになった。そこで、イメージと動きのつながりに焦点化して授業づくりを行うことにより、両者のつまずきを解消し、すべての子どもが表現運動を楽しめる授業づくりを紹介した。

第七分科会 「特別支援教育」
分科会テーマ 「個に応じた能力を伸ばす特別支援教育」

三豊市立山本小学校・山地佳子教諭

「自分が好き、友達が好き、キラリ輝く瞬間を求めて」というテーマで個別指導・支援計画を生かした活動の工夫や山本小学校の全体的・機能的な支援体制づくり等についての実践を紹介した。他の参加者も各分科会で提案発表を熱心に聞き、意見を交換する姿が見られた。



二日目は全体会に引き続き、作家の竹田恒泰氏による講演が「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」のテーマのもと行われた。軽快でユニークなお話で時間を忘れ貴重な時間となった。



次期リーダー研修会開催!

八月十六日(木)、十七日(金)、全日教連主催「次期リーダー研修会」が開催された。香教連からは、高松市立国分寺中学校・矢田有紀子養護教諭、丸亀市立城乾小学校・原田裕介教諭、丸亀市立城西小学校・高橋喜絵養護教諭の三名が参加した。



一日目は、都市センターホテルにおいて、組織理解や中央情報報告等を行った。その後、ワークショップにおいて、小グループに分かれ「私から変える『学校の働き方改革』」、「組織の強化・拡大に向けた具体的取組について」について、日々の悩みや問題点を出し合い、解決策を熱心に協議した。また、国会議事堂において、参議院議員・有村治子氏による、平成の元号についての講話と国会議事堂見学を行った。

二日目は、自由民主党本部において自民党本部の見学と、教育懇談会を行い、「笑顔あふれる教育を目指して」のテーマで、参議院議員・今井絵理子氏に講演していただいた。



障がいをもつ子供の保護者や自民党文教委員などの様々な視点から教育の在り方や今後の取組についての考えや、インクルーシブ教育の推進や特別支援教育の現状や国の動向についてお話を聞かせていただいた。参加者からの多くの質問に対して、全て丁寧に対応していただき、大変有意義な時間となった。

二日間わたり、研修を通して見識を深めるとともに、全国の先生方と交流も深めることができた。



四国教育合同研修会開催



七月二十八日(土)、「四国教育合同研修会」が香川県高松市のオークラホテル高松にて、四国内日本教育文化研究所加盟団体と四国四県高等学校教職員組合連絡協議会(四高連)との合同研修会として開催された。

開会行事の後、株式会社フアミリー代表取締役社長・徳倉康之氏による講演が行われた。講演は、「ライブデザイン」とコミュニケーションがとれる。教職員の仕事のやりかたが、業務に取組む方々や、必要と接する際に必要な意識の持ち方等を御示唆していただき貴重な研修の場となった。



二学期が始まり、子供たちの元気な声が校舎に戻ってきた。香川県内の公立学校施設におけるエアコン設置状況は全国で第二位。快適な環境で学習に取り組むことができている。

▲今夏は災害とも呼ばれた猛暑・・・全国では熱中症による事故も起き、文部科学省からは八月七日に熱中症事故を防止するための夏休みの期間延長などを求める通知が各都道府県教育委員会に出された▲県内では高松市を始め、多くの市町で八月二十七日から二期が始まっている。校内の環境は良くなっているが、あの猛暑の中、子供たちが登下校することについても、十分考慮しなければならぬ▲来年度に向け、予算等の要望時期となっている。常に子供たちのことを考えた教育がなされるよう、現場の声を伝えたい。(薫)